



日時：平成28年9月25日(木) 集合：相鉄線鶴ヶ峰駅 10:00

コース：鶴ヶ峰駅→日蓮宗妙福寺→正観寺→旧八王子街道の標識→杉山神社→芝生追分(ここで旧浜街道は終わり、旧東海道へと)→浅間神社→神奈川宿(料亭田中屋)→関門跡→本覚寺→普門須崎大神→神奈川湊お台場(台場公園)→東神奈川駅 22,000歩 14km
(伊藤自宅含め28,000歩)

参加者：森山L・平山SL 含め 合計22名

・神谷・大平・奴田・青松秀・小林俊・宮野・落合・桑原・武倉・青松美・市川夏・伊藤美・藤原和
・深瀬・小島ま・塩川・勅使河原・伊藤真・郡夫妻(東京)

天候：晴時々曇

【総括】 絹の道4回に分けて実施

- ① 1月27日(水) 八王子～多摩境 23名 快晴 森山L・神谷SL 残雪残る絹の道を歩く、最高
- ② 2月19日(金) 多摩境～町田 18名 快晴 森山L・神谷SL 町田で道に迷い、武倉さんスマホで境川沿い歩きに変更、カワセミ数回大歓迎で結果良し
- ③ 5月1日(日) 町田～鶴ヶ峰 22名 快晴 森山L・平山SL 飯縄、ラブホテル街、水路橋、筍林
- ④ 9月25日(日) 鶴ヶ峰～神奈川湊お台場 晴時々曇 22名 森山L・平山SL

【4コース参加者】 森山L・神谷SL・平山SL・小林俊・落合・武倉・藤原和・深瀬・小島ま・伊藤真 10名

平成27年11月25日(水) 雨天で中止になり今年に延期されましたが、その後は天候に恵まれ、今回4回目を無事終了しました。企画された森山Lそして下見をされた神谷SL平山SLには深く感謝致します。公表された歩数とkmを4回合計すると、67,000歩 59kmでした。

【相鉄線鶴ヶ峰駅】



森山 L お出迎えと資料配布



かたびらがわ 帷子川③クールダウンの公園へ



勅使河原さんによるストレッチ



森山 L コース説明と平山 SL 紹介



パート③に続いて参加の東京郡夫妻



今日の主役帷子川沿いを歩く



先頭平山 SL 最後尾森山 L で歩く



きれいな彼岸花のお出迎え



西谷町第2歩道橋を渡る



後続部隊遅れ気味ですぞ！



相鉄線踏切を渡ります



【日蓮宗妙福寺】 10:50



給水&トイレ休憩



新しく移転されたお寺のようで、墓地は余裕あり



錦鯉が泳ぐきれいな池を眺めながらの休憩です

お寺に素敵なお休み処です まだ5,000歩ですよ！



急石段を上ると【正観寺】小机三十三観音霊場五番目 曹洞宗 お寺の後ろに石造大仏 正門



【旧八王子道の標識】

【杉山神社】 11:30

平安時代の「続日本後記」によると横浜市域内で唯一の式内

社と呼ばれている。式内とは延暦式(後醍醐天皇時代)の中で記載されている神社のこと。



まだ7,000歩です！

【八王子和田村道橋改修碑】 1737建立 再び帷子川沿い歩きです



帷子川は水流も早くきれいで絹糸を洗っていたようです。

【昼食場所】 星川駅近くの星川中央公園 12:10~13:00 11,000歩 グランドでは少年野球大会
 日影がなく平山さん見つけられて奥の公園藤棚下で3人申し訳ありません。皆さん日当たり良いが、テーブル付。



既に食後のデザートの日です

日焼け防止で顔はご遠慮!

再び宮田町街歩きです、後続お離れ!



【水子地藏尊】【芝生追分】 八王子街道の起点で、浜街道の終点でここから旧東海道 標識拡大→



八王子道は、ここより惟子川にそって伸び、町田・八王子へと続く道で、安政六年(一八五九年)の横浜開港以後は入王子方面から横浜へと絹が運ばれるようになり、「絹の道」とも呼ばれています。
 八王子道

「洪福寺松原商店街」

歩道に「旧東海道」銅板 「神明下公園」休憩です



これは少女時代に戻り良きストレッチ?~まだ若いよ!

後ろの人もやりたい?この辺りは浅間町です。

13:40 15,000歩

【料亭・田中屋】1863年の創業。江戸時代末期から明治の歴史がよく判ります。坂本竜馬の妻になる英語も話せる「おりょうさん」が勝海舟の紹介で働いていたとは！



【大綱金刀比羅神社と一里塚】



● 大綱金刀比羅神社と一里塚

この神社は、社伝によると平安末期の創立で、もと飯綱社といわれ、今の境内後方の山上にあった。その後、現在の地へ移り、さらに琴平社を合祀して、大綱金刀比羅神社となった。かつて眼下に広がっていた神奈川湊に出入する船乗り達から深く崇められ、大天狗の伝説でも知られている。

また、江戸時代には、神社前の街道両脇に一里塚が置かれていた。この塚は、日本橋より七つ目に当り、土盛の上に樹が植られた大きなものであった。

こちらは料亭「瀧川」



【東横フラワー緑道】東急東横線ガードをくぐり本覚寺へ向かう。京急神奈川駅近くです。本覚寺へ石段を上る。



【本覚寺】横浜開港時のアメリカ領事館で、山門は日本初のペンキ塗り。生麦事件時負傷イギリス兵が逃げ込み。元は臨済宗で1226年栄西創建。高島台から幸ヶ谷公園(権現山)にかけての高台にある。1510

年上杉氏と上田正盛の権現山合戦で荒廃したが、1532年曹洞宗の寺として再興された。東側の権現山は神奈川台場の建設の為削られ、更に明治時代の鉄道建設により東側に切通しが作られ、東海道も分断された為、門前近くに「青木橋」が架けられた。更に第2京浜建設の際にも寺域が削られた。本尊は地蔵菩薩(1945年焼失)

山門入口に「アメリカ領事館跡」石碑 本堂立派な構えです

今日の感謝と・・・



彫り物と本堂本尊も素晴らしい 本堂への石段「辰」にも辰年3人で感謝!



風情があり模様きれいな石畳の緩やかな坂道を足取り良く下る。

相鉄・東海道・横須賀各線陸橋を渡ると「神奈川駅」



「甚行寺」フランス公使館跡



【普門寺】元イギリス士官宿舎



●普門寺
普門寺は、洲崎山と号し、真言宗智山派に属す。山号の洲崎は洲崎大神の別当寺であったことより起った。また、寺号の普門は洲崎大神の本地仏である観世音菩薩を安置したことより、観世音菩薩が多くの人々に救いの門を開いているとの意味である普門とされたと伝えられている。
江戸後期には、本堂・客殿・不動堂などの建物を持ち、開港当時はイギリス士官の宿舎に充てられた。



【須崎神社】 20,000歩



● 洲崎大神
 洲崎大神は、建久二年（二九二）、源頼朝が安房国（現、千葉県）一宮の安房神社の霊を移して祠ったことに始まると伝えられている。
 『江戸名所図会』の様子は、今も石鳥居や周囲の地形に偲ぶことができる。神社前から海に向かって延びる参道が、第一京浜に突き当たるあたり。そこが、かつての船着場である。横浜が開港されると、この船着場は開港場と神奈川宿とを結ぶ渡船場となり、付近には宮ノ下河岸渡船場と呼ばれる海陸の警護に当たる陣屋も造られた。



森山L「お疲れさま、ゴール前最後のポイントです」 神楽殿もあります

参道も木に囲まれ気持ちよまる



「幸ヶ谷陸橋」を渡り【神奈川台場跡】に向かいます。1859年勝海舟設計で海砲台が構築された。



● 神奈川台場跡
 安政六年（一八五九年）五月、幕府は伊豫松山藩に命じ、勝海舟の設計で海防砲台を構築した。当時の台場は総面積二万六千余平方メートル（約八千坪）の海に突き出た扇形で、約七万両の費用と工期約一年を要し、萬延元年（一八六〇年）六月竣工した。明治三十二年二月廃止されるまで礼服用として使われたが、大正十年頃から埋め立てられ、現在では石垣の一部を残すのみとなった。

開港の絵図と地図で横浜港歴史がよく判る

1863年

1880年



1900年

1930年



15:10 22,000歩
 お台場跡は何もありませんが、開港前からの絵図、地図が掲示されており、崖淵切崩しと海岸埋め立ての歴史が理解しやすくなっておりました。孫を連れて学習させると良いでしょう。

勅使河原さんによるクールダウン（昨日雨天にもかかわらず箱根明神ヶ岳・明星ヶ岳縦走に参加されたそうです）



森山 L「お疲れ様でした。22,000歩14kmとします」平山 SL「小机三十三観音巡りを企画します、多数の参加をお願いします」 森山 L・平山 SL 有難うございました！ 先程学んだ入り江運河です



【アフターウォーク in 隆昌飯店】カンパ〜イ！KWC お馴染みのお店で料理も美味しく、お安く戴きました。



編集後記：7/18（月・海の日）吉越 L「小網代の森を抜けて奥座敷の諸磯へ」に参加して以来の参加。北陸旅行、スコットランド・イングランド旅行と忙しく台風も絡み、PCも10に変えて慣れず50頁の旅行記も編集中、神谷さんから電話があり、写真係を依頼され悩みましたが、「絹の道」今まで3回参加しているので最終回参加する事にしました。結果は横浜港の歴史を現地で詳しく学習出来ました。そして「絹の道」八王子から神奈川台場跡まで完歩出来ました。

いつものボケ防止用日記帳「メモと写真」です。誤記や失礼な記述があるかもしれませんが悪しからずお許しの程。説明文は森山 L メモと HP 他から引用しました。